

夏の宿題







夏が来た、
今年も美雪叔母さんの所にこの一か月の夏休みを
過ごせに来た

お邪魔します



さくらんぼ

美雪叔母さんが迎えに来て、
父さんは叔母さんと少し話した後、直ぐ車で帰す



父さんと別れ後、
美雪叔母さんと一緒にお家に入る

ガラガラ……





じゃ改めてご挨拶しよー！

●
●
●
●
●

美雪叔母さんが服をめくって、
色気満々な巨乳と熟成したたま〇こを晒し



ちふっふっふ



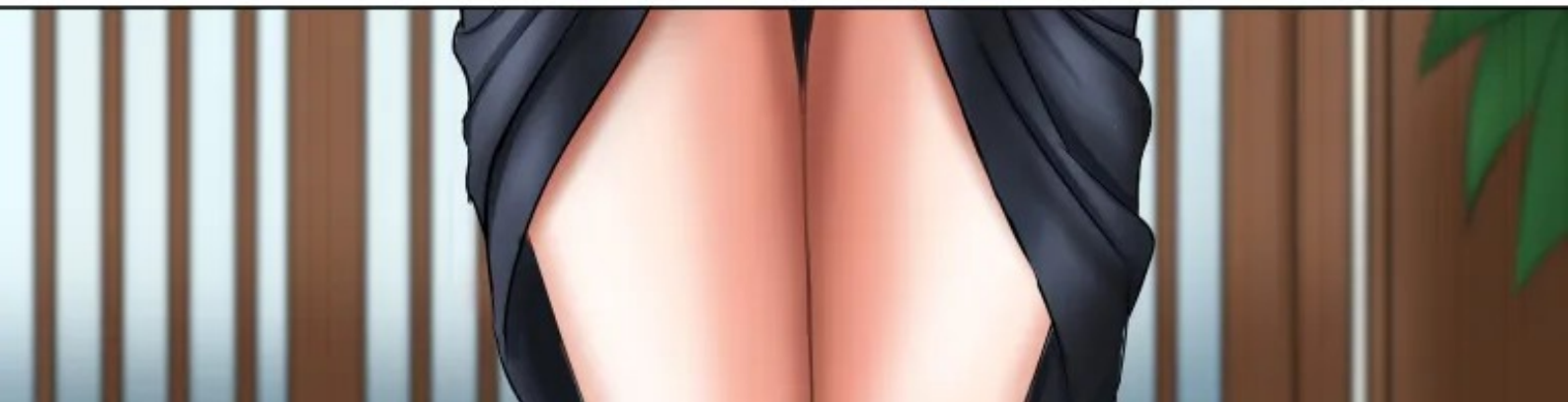
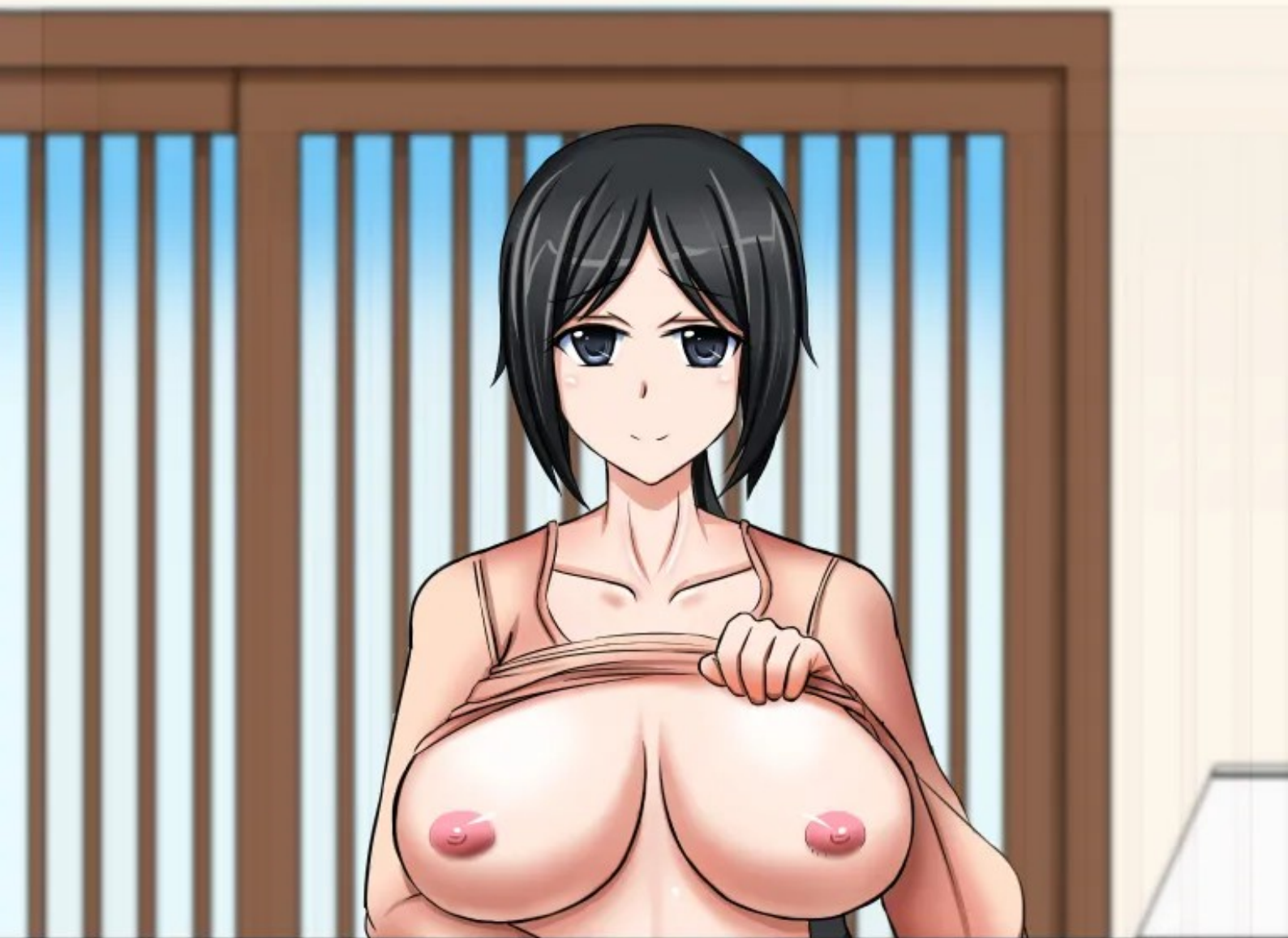


どうかしましたか？



ゴム…ですか…

●
●
●
●
●



才・ナ・ホ

あは



ぱん♡

美雪叔母さん!!

ぱん♡



ん♡



あん

ぱん♡

あ

ぱん♡

お互いの肉体を求め続ける、
発情期の獣のような必死に交尾した

あ…ん…そろそろ晩ごはんのじゅん…び…あ…

バチユ

はっ

ぱん

あん

ぱん

そこ…ダメ…

んは

バチユ

あ



バチユ

飯でも風呂でも寝る前でも。

この家は叔母さんの喘ぎ声とハメ音が絶えなく続いている

綺麗にしてたのに
まだここで…あ…

んー

はあ

もう無理だ

バチユ

んあ

声…
気づかれじやう

バチユ

イタ



!



ハ
ア



ハ
ア

ハ
ア



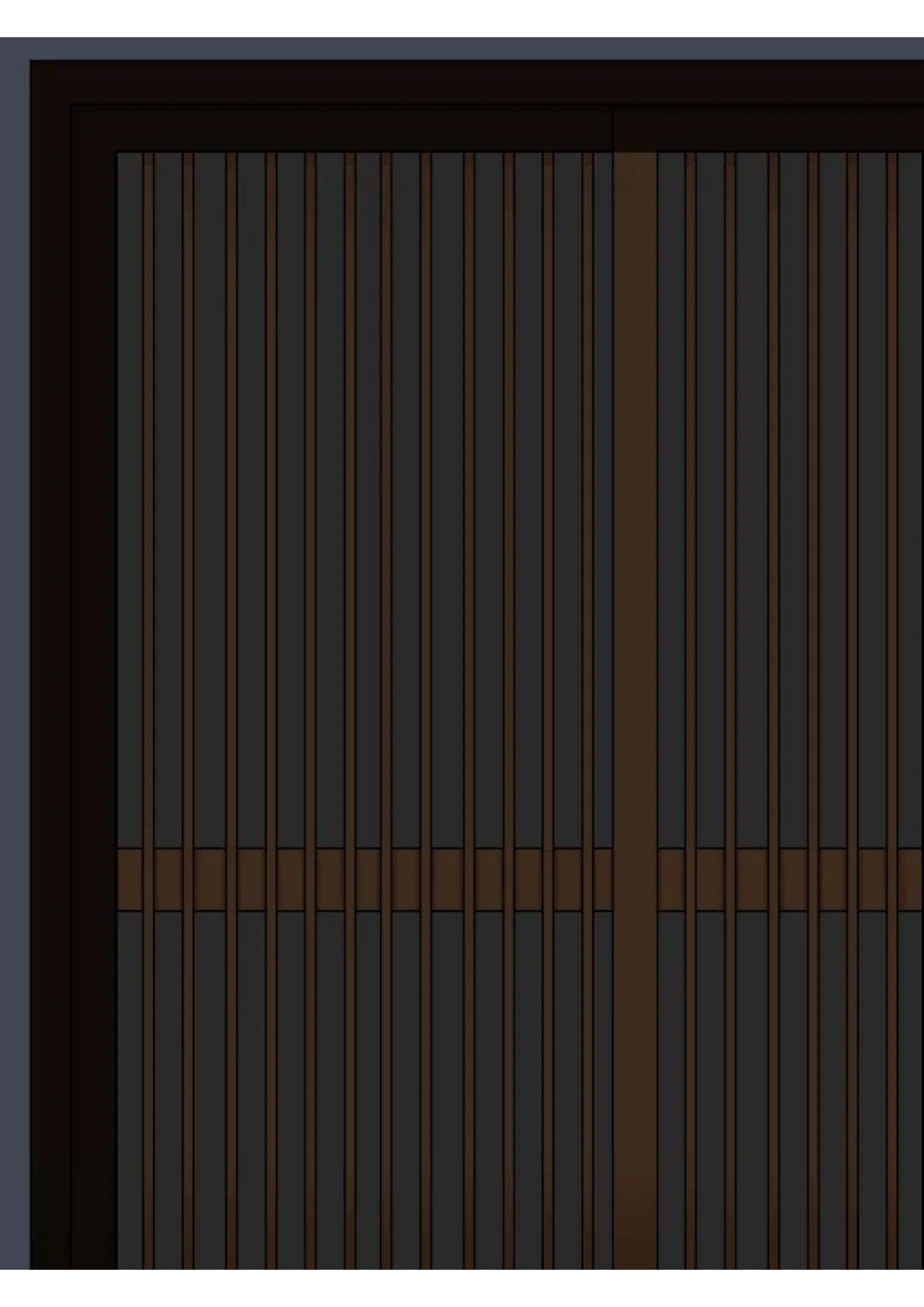
深夜、
二人共ようやく疲れ果てって、
散らかした淫靡な臭いと伴い、
お互いを抱きしめて眠り落ちた

ハ
ア

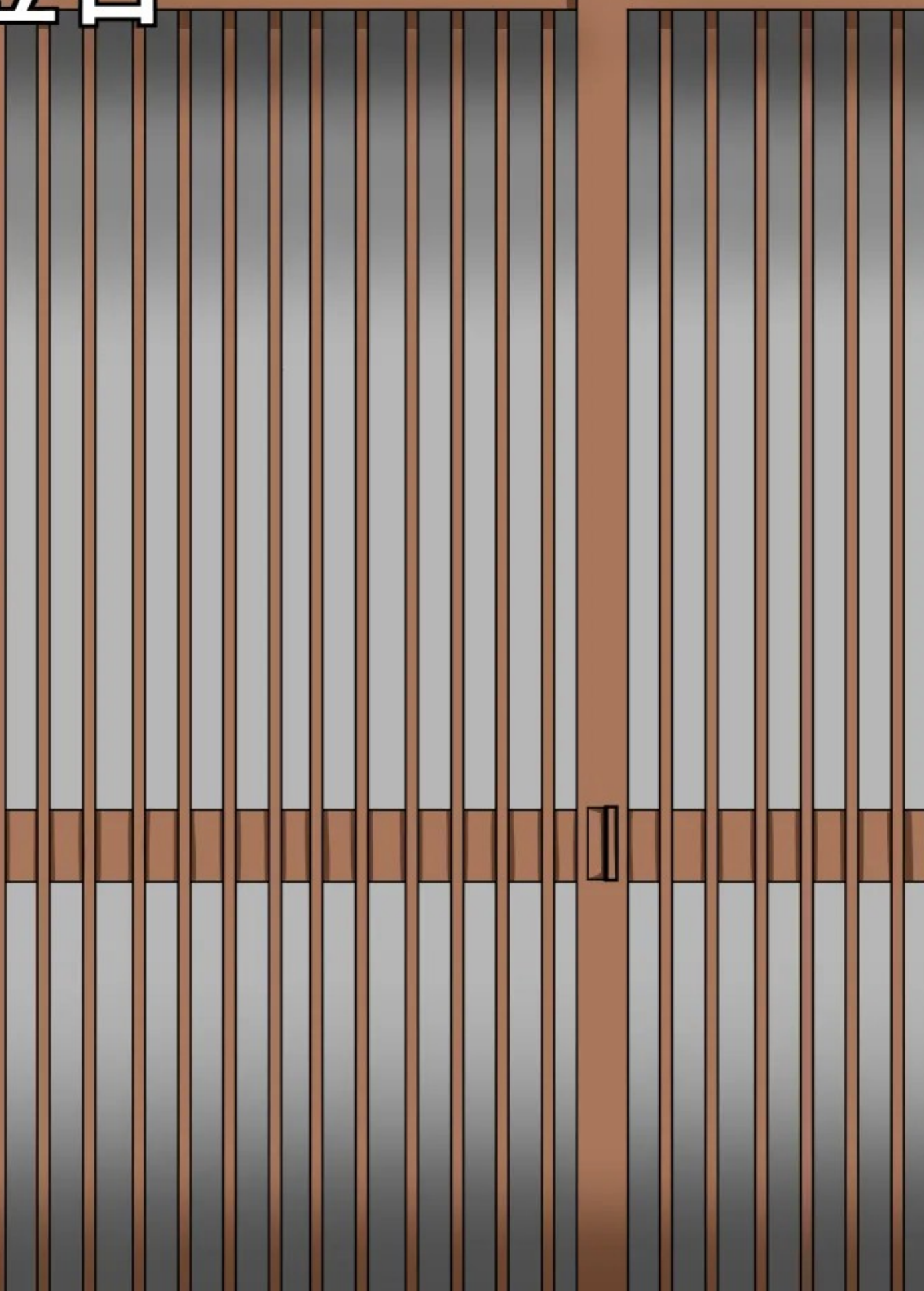
ア
へ

は





翌日





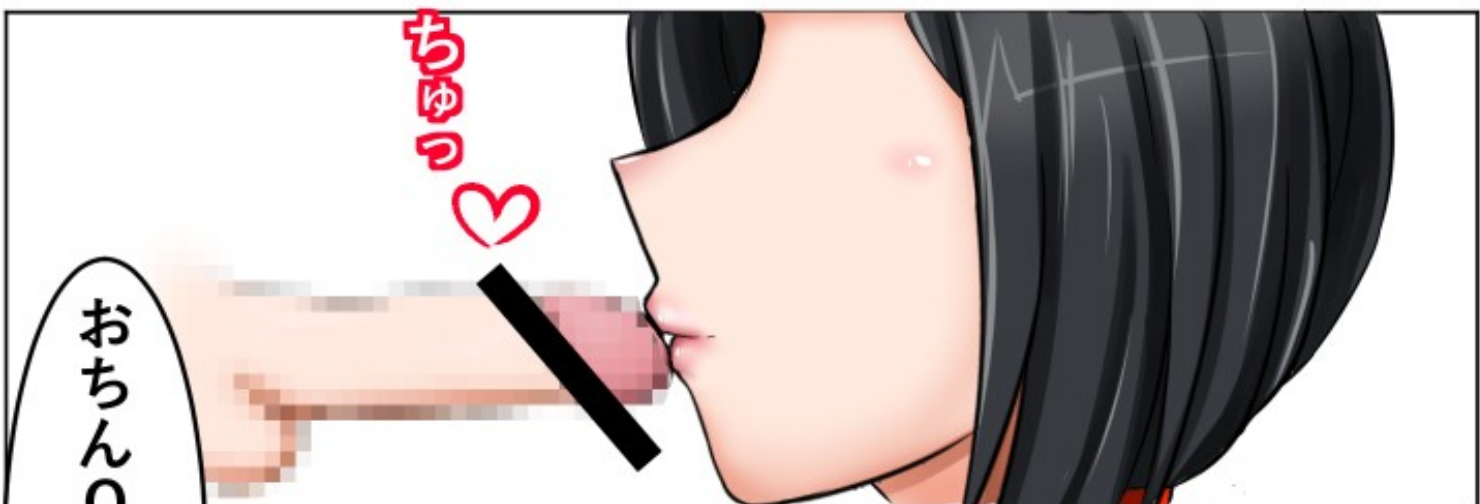
行ってきます!!

行ってきます!!

あら、

ちヨット
待ってね

おはようー！



おちんOんさん



行ってらっしゃい！
ボク君…じゃなくて…

あなた



帰って来たら...

また私のま〇こを
可愛がってね ♡



ボクと美雪叔母さんの夏休みはこれからだ

